

講座修了後、 認定資格の取得が可能です。

修了試験合格の後、申請手続き*をすれば、一般財団法人日本医療教育財団が認定する「調剤報酬請求事務技能認定」資格を取得できます。*申請料として、別途3,000円(税込)が必要です。

修了試験は、休日などを選んで「自宅」で受けられます

修了試験は、「在宅試験」。これまで講座で使用し、重要ポイントを書き込んだテキストなどを見ながら試験にのぞむことができます。試験会場に向かう手間も費用もかからず、自分の時間を有効に使えるので、家事や育児の合間や、仕事がない休日などを選んで、受験することができます。



目指すのは、日本医療教育財団認定「調剤報酬請求事務技能認定」資格

講座修了後、申請手続きの後に取得できる、一般財団法人日本医療教育財団認定「調剤報酬請求事務技能認定」資格。この資格は全国で広く認知されており、調剤報酬請求事務の従事者として必要な知識と技能を有していることを証明するものです。就職活動のアドバンテージにもなります。



資格取得後の進路については、調剤薬局以外の就職先も目指せます

講座で学んだ知識と技能を身につけ、認定資格を取得した後の進路は、調剤薬局のみならず、保険薬局併設型のドラッグストアなども就職先候補のひとつになります。薬剤・調剤料の算定、調剤報酬明細書(レセプト)の作成スキルは、幅広いフィールドで生かすことができます。



仕事を離れても、暮らしに役立つ調剤薬局事務講座で学んだ知識

1. 「かかりつけ薬局」の有用性が注目されている今、自分にベストな薬局を選ぶことができます。
2. 患者として処方せんをもらった時に、薬局において、薬剤師から注意して聞かすべきポイントがわかります。
3. 調剤基本料は薬局の規模によって違いがあるなど、どこで薬を受け取ったら経済的かがわかります。
4. 最初に開発された薬より、特許期間が切れた「ジェネリック薬」の方が安いなど、役に立つ薬の知識が増えます。

調剤薬局事務講座

入学案内 通学コース / 通信コース



薬局で働く
スキルと資格を取得!

受講生の声

充実のサポート体制が、心強かったです。

ニチイ 堺東校 通信コース修了 西野佳子さん

子どもがまだ小さく、通学することが難しかったので通信コースで学びました。ニチイを選んだのは、ほかにはない「無料聴講制度」があったからです。子どもが寝てからの時間を有効活用して自分のペースで学びながら、わからない

ところを講師に質問できたり、通学コースの授業に数回参加できるなど、サポート体制が充実していたので心強かったです。おかげで、受講開始から1ヵ月で、修了試験に合格することができました。



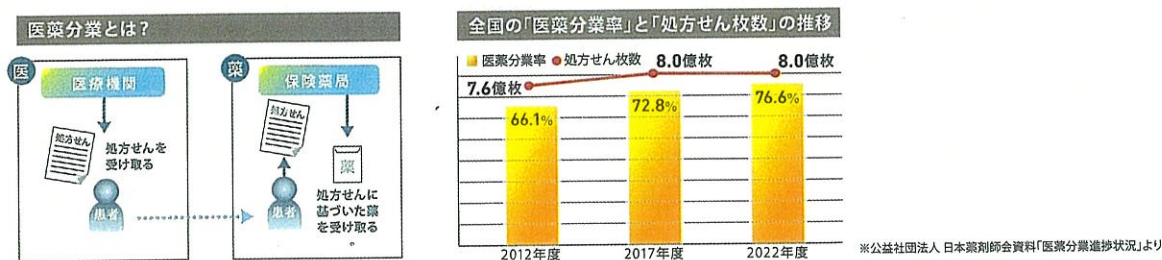
やさしさを、私たちの強さにしたい。





医薬分業で注目を集める「調剤薬局」への就職。 調剤薬局事務のスペシャリストが 求められています。

調剤薬局への就業ニーズの背景にあるのが、国の政策によって年々高まる医薬分業率。
 医薬分業とは、「患者は医療機関から院外処方せんを受け取り、
 その処方せんに基づいた薬を保険薬局で受け取る」という投薬部門の分業化や専門化のことを言います。
 この医薬分業率の向上に伴い、調剤薬局で取り扱う処方せんの枚数は毎年膨大な数に。
 求められる、調剤薬局事務のスペシャリスト。高まる、調剤薬局への就職ニーズ。
 まさに今、調剤薬局事務の資格を取得することは、医療業界で働くための近道でもあります。



調剤薬局事務の仕事の内容って？

調剤薬局事務の仕事は、大きく分けて3つ。いずれも、調剤薬局を運営する上で責任の大きな仕事ですが、それがやりがいになります。

受付業務

患者さんから処方せんをお預かりし、患者さんの保険情報を確認。その後、薬剤師へ薬の処方依頼を行います。



会計・事務関連業務

薬剤などの費用を、調剤報酬のルールに従って、点数算定し、コンピュータ入力。患者さんから費用の徴収を行います。



保険請求業務

患者さんごとに調剤報酬明細書(レセプト)を作り、保険者(国民健康保険や保険組合)に、保険請求を行います。



即戦力になれるカリキュラム。

本講座は、一般財団法人日本医療教育財団が認定するカリキュラムを使用。
 接客マナーやコミュニケーションといった医療関連スタッフとしての基本から、
 調剤報酬に関する専門知識・スキルの習得までを段階的に学習。
 初めて医療事務関連の学習をする方も、すでに調剤薬局で勤務中の方も、
 最短1ヵ月での修了試験合格・資格取得を目標に、
 調剤薬局事務のスペシャリストを目指すことができます。

[カリキュラム内容]

- 医療保険制度
- 患者接客マナーと受付業務
- 調剤報酬
- 調剤録作成
- 調剤報酬明細書の作成 など



講座では、どんなことを学ぶ？

- 1. 医療保険制度を理解する**
- 2. 調剤報酬点数の算定方法を理解する**
- 3. 接客・マナーを身につける**

医療保険制度のしくみをわかりやすく解説したテキストを読み、一覧表で医療保険に関わる各制度の特徴を比較し、制度の詳細や違いを学びます。

調剤報酬の点数と算定ルールを学び、明細書の作成、誤りを探せるようになる力を実践的に身につけていきます。

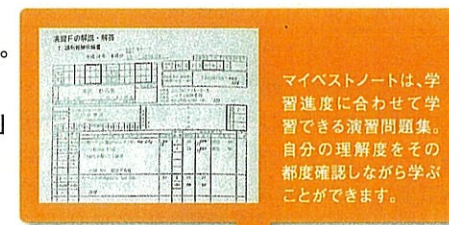
社会人としての基本マナーから、実際の現場で必要とされる接客まで。調剤薬局の現場に立った時に戸惑うことのないよう、しっかりと身につけていきます。

わかりやすいテキスト。

医事教育約50年の実績のあるニチイが理解のしやすさ、学習の進めやすさを第一に考え、作ったオリジナル教材。
 WEBでも閲覧可能で、スキマ時間の学習にも便利です。

- テキスト3冊「医療保険のしくみ」「医療現場での接客マナー」「調剤報酬」
- 保険薬早見表
- マイベストノート*

*通信コースは、学習ガイドブック付き。



WEBでも閲覧可能

「点数マスター方式」
 調剤報酬点数と算定ルールを「点数マスター」にまとめたので、要点が整理された、この「定理・点数マスター方式」のテキストを理解しておくことが何より重要です。

